

## 滞在中に、政治の動き

私が中国に滞在している九月十九日、大きなニュースが飛び込んできました。中国共産党の第十六期中央委員会第四回全体会議において、江沢民・共産党軍事委員会主席が辞職し、後任に胡錦濤氏が昇格した。

とです。胡錦濤氏は〇二年十一月に共産党総書記、〇三年三月に国家主席に就任しています(いずれも、前任は江沢民氏)、軍の最高指導者にも就任したことで、名実ともに胡錦濤体制が敷かれることとなりました。

胡錦濤氏は全方位外交を推進し、日本との関係も重視するという姿勢を鮮明にしていくとされますので、今後の日中関係がどのように進んでいくのか非常に興味深く思います。また、



路地裏には昔ながらの風景が残る(上海)



金茂大廈 88階建てのビル。中国一の高さで世界でも3番目に高い(上海)

日本の外交がアメリカ偏重であるという懸念が出ている中、日本も中国を中心とするアジアとの協調に

より力を注ぐべきではないでしょうか。

## 中国で感じたこと

かつての中国のイメージである「人民服を着た人々が、自転車に乗って往来している」が頭に残っていた私は、今の中国の姿に少なからず驚嘆を覚えました。若い人たちはお洒落な格好に身を包み、街は車であふれ大渋滞、再開発で近代的ビルが次々と姿を現すなど、中国は大きく様変わりしています。しかし、一歩街の裏側にはいると、まだまだ貧しい人たちが沢山います。

市場主義経済の導入によって、貧富の格差が広がっており、また奥地である西と海沿いの東では都市間の格差も広がってきています。政治的には、社会主義を貫いている指導部がこのような現象にどう対処していくのか、非常に注目されるところです。

このような中国の二面性を見たときに、



外灘の対岸にて(上海)

私は今の日本にも同じようなことが当てはまるのではないかと感じました。業績が好転してきている大企業といまだに苦しい思いをしている中小企業、景気回復を実感できず東京や名古屋などの大都市と不況にあえぐ地方都市など、日本でも二極化が進んでいます。

国際競争に打ち勝つためには日本の競争力を強化しなければならぬのは当然のことですが、政治の重要な役割に「富の再分配」があるとするならば、今苦しんでいる人たちにもう少し配慮した政策を行っていくべきではないかと思えます。

とても勉強になり、そしていろいろと考えさせられた、中国訪問でした。



滞在中、上海ではちょうどF1が開催されていて、至るところでイベントがおこなわれていた(上海)

# マロリーズ カフェ vol.2

前号から始まったマロリーズカフェ。後援会の方々のご意見を掲載するコラムコーナーです。第二回は蓮池豊さん。たかまろを支える若手の中心的な存在です。このコーナーを通じて新たな人のつながりが生まれればと思います。また、我こそはと思われる方の投稿もお待ちしております。

## 「伊勢エビとイラクと番匠さん」

蓮池 豊

長崎に崎戸というところがある。たいへん大きな伊勢エビが捕れるらしい。先月、母がその大物を手に入れた。来た。「ちよつとうるさかったよ。車の中で、大騒動しよんさつた」らしい。でかい。まるでモスラである。エビとはいえ、ここまででかいとおそらく七センチはあつたらう、ひげだけに箱には収まっていなかった)彼に神を感じてしまう。僕はふと、「このまま唐津に連れて行くか」「いや」「おれが神を裁くのか」。

家で一番広いまな板の上に載せる。



蓮池 豊さん



イービス艦「こんごう」の船上にて

初めてとはいえ、裁き方はネットで閲覧し何度もシミュレーションしている。あとは勢いだけである。会社のスタッフも観ている。ただやるだけだ。頭をタオルで掴み、頭と胴の付け根の一番薄いところに刃を当てる。「スゴッ」という音と共にエビの足が全部前方に伸びた。何とも言えない感触が手に伝わる。後は、早めにトドメを刺してあげるだけだ。しかし、その時点でやつと気づいた。相手は甲殻類である。虫と緒なのだ。沸騰したお湯にでも入れない限り、即死はあり得ない。しまったと思いつつ湯を沸かす。彼の頭は、金槌で刃を入れない限り割ることはできなかつた。そうしてできた伊勢エビの刺身とみそ汁は、母、祖母、そしてスタッフに予想外の大絶賛を浴び、僕はおが屑のにおいと、エビのにおいの残る手で「切れがやつとだつた。その夜眠れずにはいつとネットを徘徊する。アメリカのホームページで「さんなまのからくりTV」に出てきそうな文字が目に入る。開いてみる。嫌な雰囲気だ。白人に目隠しをし膝をつかせ、銃を持って覆面をした男が数人。西アジア独特の三日月刀を持った男が白人を脅しながらカメラに向かって話している。「公開処刑」そう直感した。五、六分の演説の後、のたうち

回る白人の髪を掴み喉元を切つた。三十秒もかかつたらうか。やたら長く感じたが、その三日月刀を持った男は声を震わせながら自慢げに白人の首を彼の胴の上に置いた。

さて、先日 たかまろ氏と共に佐世保へ行った。全国防衛協会青年研修大会に出席するためだ。十月十二日は講演会で、翌日海上自衛隊のイービス艦に乗る。僕はただ、イービス艦がどんなモノか見たかつた。しかし、前日の講演会で衝撃を受けた。第一次イラク復興支援部長一等陸佐・番匠幸一郎さんの講演だつたのだ。もう既に僕の印象からは薄れつつある「イラク派遣」。ただ記憶の中に、小泉首相に向かつて敬礼し飛行機に乗り込む姿はある。その番匠さんだ。内容はたかまろ氏に任せ、僕が一番興味深かつたのは「迷彩服は日本仕様の緑」と「二度の投石」という話である。迷彩服の理由は、「砂漠仕様の迷彩服はいらない。我々は復興支援に行くのである。ただひたすらに、そのことを主張しなければならぬ」また「二度の投石を受けたが、その事から現地の人との心の交流を第一に考えた。また、投石は子供の勘違いであつた」。

その決断と実行が今では自衛隊に対する各国の非難を受けない状況を作り出していると確信する。自分がやること。日本がやること。目をそらす先送りすることなく現在を決定し行動していかなければならぬ。

## 防衛協会青年部全国大会

十月十二日、十三日の両日、長崎県佐世保市において全国防衛協会連合会青年部会の第四回全国青年研修大会が開催されました。私が青年部会長を務めさせていただいている佐賀地区防衛協会青年部からも十名の方々にご参加頂きました。

初日は、第二次イラク復興支援群長の番匠幸一郎二等陸佐による「イラクにおける活動について」と題する講演および、式典や懇親会がありました。実際にイラクで活動をされていた番匠さんから、イラクでの活動の様子や、イラクでどれだけ日本人が歓迎されているかなどのお話を伺い、あらためて国際貢献の観点からの人道支援の必要性を感じました。「GN」＝義理・人情・浪花節や、「ABC+DE」＝当たり前のことを「ボート」しないで「ちゃん」とやる士でできるだけ笑顔で、といった統率上のスローガンも紹介されました。その後の式典では石破茂前防衛庁長官がご挨拶され「自衛隊は国民に信頼されている。一方、政治は自衛隊員に信頼されるに足るものだろうか？」との投げかけをされたのが重く響きました。

二日目は二班に分かれて、海上自衛隊のイービス艦体験航海と、陸上自衛隊のヘリ体験搭乗。私は、「イービス艦」"こんごう"に乗せていただきました。イービス艦とは、高度な情報収集能力を持ち、その情報に基づいて攻撃する能力も兼ね備えている護衛艦の一種です。ミサイル艇の高速航行や、ヘリの離着陸などもみせていただきました。国防を考える際、兵器の知識は不可欠です。いい勉強となるとともに、全国各地の青年部の方々と知り合いになれて、有意義な研修でした。



懇親会で番匠一佐と(左は指山県議、右は山崎さん)

# 青年局サポーター国会見学ツアー

## Club Liberty

十月十五日、十六日に自民党佐賀県連青年局が主催する「Club Liberty 青年局サポーター国会見学ツアー」に私も参加させていただきました。Club Libertyとは、自民党佐賀県連の青年局が、青年層拡大のために独自に組成したもので、四十代までの方は年会費千円で誰でも入会できます。全国に先駆けて佐賀で作られたこの組織は、自民党本部からも大変高い評価をいただいています。この活動を通じて若者の意見が政策に反映され、少しでも青年層の政治離れに歯



国会正面前で一緒に行った方々と

止めがかけられればと思います。

今回は、佐賀青年局長をはじめ多くの県議の先生も同行され、一般の方を含め二十四名の方が参加をされました。首相官邸や国会を見学したほか、八名の若手国会議員の方々との意見交換会や、安倍晋三自民党幹事長代理との対談など、非常に充実したプログラムでした。また夜は、佐賀選出の国会議員も入られての懇親会があり、大いに盛り上がりました。

青年局サポーターも現在三百名を超えるほどになりました。青年局では、引き続きサポーターを募集する一方、研修会の実施やニュースレター発行などの活動を行っていきます。

興味のある方は、是非下記までお問い合わせいただければと思います。

連絡先：自民党佐賀県連青年局

電話 0952-24-1286

e-mail jiminsaga@po.saganet.ne.jp



安倍幹事長代理と

# たかまろう。

## 佐賀女性の会

九月四日、佐賀市在住の女性有志の方々に私を応援する会を立ち上げて頂きました。名前も当日「たかまろう？佐賀女性の会」と命名して頂きました。本心に強く思いますし、応援して頂く力をバネに、更に頑張っていきたいと思えます。



## たかまろサポーターズクラブキャップ

たかまろサポーターズクラブ(巻末参照)では、オリジナルキャップを作成致しました。五千円以上のサポーターになられた方には、その中からキャップをご購入頂くというものです。また、別途キャップのみの販売も行う予定です。尚、数に限りがありますので、なくなり次第終了させていただきます。



くわしくは、福岡たかまろ事務所(0952-30-0555)までお問い合わせ下さい。

## 第二回 たかまろう政経フォーラム

九月二十五日、エスプラッツホールで第二回たかまろう政経フォーラムを開催致しました。当日は、お忙しい中約百五十名の方々にご参加頂き、衆議院議員の後藤田正純先生に「若手議員が永田町を斬る」と題して、講演頂きました。

後藤田先生は大学の先輩にもあたりますが、若手議員の目からみた今の政治の流れについて、大変斬新なご意見を伺うことができました。言うべきことははっきりと言われる歯切れの良さに、今後の自民党や国政を変えるという決意と自信が見て取れました。講演内容につきましては、ホームページ(www.takamaro.jp)上の「たかまろTV」コーナーで動画をご覧頂けるほか、同ホームページのコラムコーナーに要約版を掲載しています。

また、「ブロードキャストステーションサガ」にて十一月中にインターネット放送される予定です。日程や、番組はwww.bcss.jpを参照下さい。



後藤田代議士と

